

社会に必要なとされるひらめきを社会実装のステージへ

公益資本主義、日本再興の新機軸

世界中で社会課題が溢れているが、日本でも少子高齢化や健康問題への不安、イノベーションの不足といった様々な課題を抱えている。アライアンス・フォーラム財団では、「会社は社会の公器」と捉える公益資本主義をもとに、日本を再興するための新機軸について議論を重ねた。



日本が先んじて課題を解決し世界が憧れる国へ

「世界中に教育を受けた健康で豊かな中間層を創る」ことを理念とするアライアンス・フォーラム財団が、年に一度開催するワールド・アライアンス・フォーラム東京円卓会議(WAF東京)で、2023 WAF東京では「公益資本主義、日本再興の新機軸―社会に必要なとされるひらめきを社会実装のステージへ」をテーマに、世界に散らばるアイデアの種を事業の芽とするための技術革新の鍵、事業の芽をイノベーションの森へと育む俯瞰的な視点について議論された。

「世界中に教育を受けた健康で豊かな中間層を創る」ことを理念とするアライアンス・フォーラム財団が、年に一度開催するワールド・アライアンス・フォーラム東京円卓会議(WAF東京)で、2023 WAF東京では「公益資本主義、日本再興の新機軸―社会に必要なとされるひらめきを社会実装のステージへ」をテーマに、世界に散らばるアイデアの種を事業の芽とするための技術革新の鍵、事業の芽をイノベーションの森へと育む俯瞰的な視点について議論された。



2023 World Alliance Forum 東京円卓会議 2023年10月25日開催 アライアンス・フォーラム財団 主催 於：大手町三井ホール

「世界中に教育を受けた健康で豊かな中間層を創る」ことを理念とするアライアンス・フォーラム財団が、年に一度開催するワールド・アライアンス・フォーラム東京円卓会議(WAF東京)で、2023 WAF東京では「公益資本主義、日本再興の新機軸―社会に必要なとされるひらめきを社会実装のステージへ」をテーマに、世界に散らばるアイデアの種を事業の芽とするための技術革新の鍵、事業の芽をイノベーションの森へと育む俯瞰的な視点について議論された。

「世界中に教育を受けた健康で豊かな中間層を創る」ことを理念とするアライアンス・フォーラム財団が、年に一度開催するワールド・アライアンス・フォーラム東京円卓会議(WAF東京)で、2023 WAF東京では「公益資本主義、日本再興の新機軸―社会に必要なとされるひらめきを社会実装のステージへ」をテーマに、世界に散らばるアイデアの種を事業の芽とするための技術革新の鍵、事業の芽をイノベーションの森へと育む俯瞰的な視点について議論された。

ていくための柱になる。という感慨を持つ重要性を熱く語った。

真に多様性のある議論とは？ 心に火を灯し、行動すべき時

「アイデアの種から事業の芽へ…技術革新の鍵」と題されたセッションでは、技術の種を発掘し、事業まで育て、さらに公益を生み出すための新機軸について議論を行った。イノベーションを創出するためには、予定調和な話し合いではなく、真に多様性のある議論を行うことが重要だ。知的財産と人的財産の活用、民間企業と研究・教育機関、行政の連携といった掛け合わせを、本腰をいれて行っていく必要がある。また、「多様性」を意味するダイバーシティという言葉が多用されるが、それを受容するインクルージョン「包括」も同時に意識すべきであるとの意見があった。イノベーションを起こす「人材」も重要である。10年、20年後のことを自分事として考え、チームにも貢献する心を兼ね備えた人材を育てていくべきだ。

そして、様々な社会課題が問われている今、それらの問題に対して本気で向き合っているか、いま一度自問自答すべきであろう。課題を解決するためには必要なアクションは無数にある。その中から自分ができることを1つずつ実際にチャレンジしていかなければならない。

自らの強みに自信を持ち 俯瞰的に世界を捉える

「事業の芽からイノベーションの森へ…俯瞰的な視点」をテーマにしたセッションでは、事業化された技術を社会に実装していく上で求められることは何か議論を交わした。イノベーションを起こすためには、失敗を恐れずチャレンジし続けることが重要だ。しかし、医療や鉄道のように、業種によってはミスの許されない仕事が多く存在する領域もある。それらの業種で強みとなる、日本人の「真面目気質」もイノベーションと相反して見られることも多いだろう。しかし、日本人がそれさえも悲観せず、国民性の強さであると、自信を持って、日本からもイノベーションを起こすことは十分に可能だ。日本国内だけでなく、世界全体に視野を広げ、社会課題の実情を正しく理解した上で、社会課題に向き合い、解決していくという強い意思が重要となる。イノベーションには、知識と技能だけでなく、使命感も必要なのだ。

日本人は今まで以上に、適切な「時」「場所」「言葉」を選んで、自分の意見を述べるのが求められるだろう。様々な組織の人間が話し合い、連携できるプラットフォーム(場)を設け、グローバルな視点で活動を行っていくことが要諦だ。世界各国が憧れる国になるには健康

で豊かな中間層を創ることが必要不可欠になる。そのためには、公益資本主義経営による利益の公正な分配が重要であると原は示す。

日本は周回遅れで、株主資本主義の道を進んでおり、企業が生み出した利益の株主への還元が重要視されている。しかし、利益は社会への貢献の産物であって、新たな技術や商品を開発し、社会に貢献することができたのは誰のおかげであるのか。従業員や顧客、仕入れ先、地域社会、地球、長期に渡って株を保有する株主ではないか。原は、会社を成功へ導いてくれる仲間を「社中」と表現し、株主ではなく、社中を大切にすることが会社の成長に繋がるといふ。そして、社中を大切にすると公益資本主義経営を後押しするために、法制度、会計基準の改正、エコシステムの整備に力を注ぎたいと述べた。

今後も全世界に向けて公益資本主義の啓蒙と実装に取り組んでいく。 アライアンス・フォーラム財団は、

新産業創生に向けた 技術シーズを持つ企業

開催当日は、アライアンス・フォーラム財団の理念「天寿を全うする直前まで健康でいられる社会」実現に繋がる技術シーズを持つ企業の展示を行った。場内は活気に満ち溢れ、多くの人々が、理念達成への可能性を感じた。



Speakers (敬称略)

- ◆Guest Remarks
 - 植田 俊 (三井不動産株式会社 代表取締役社長)
 - 松本 吉郎 (公益財団法人 日本医師会 会長)
 - ◆Speakers ※登壇順
 - 近藤 昭彦 (神戸大学 副学長)
 - 木村 裕一 (株式会社LIMNO 代表取締役社長)
 - 鈴木 健嗣 (国立大学法人 筑波大学 学長補佐 システム情報系 教授)
 - 野口 謙吾 (三井住友信託銀行株式会社 副会長執行役員)
 - 伊勢 勝巳 (東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役副社長 社長補佐(全般) イノベーション戦略本部長 CTO-CDO-CIO)
 - 坪田 一男 (株式会社坪田ラボ CEO/慶應義塾大学 名誉教授)
 - 中川 祥子 (日本製薬工業協会 常務理事)
 - 原 丈人 (アライアンス・フォーラム財団 会長)
 - 北原 義一 (株式会社東京ドーム 代表取締役会長CEO /アライアンス・フォーラム財団 理事)
 - 葛城 植之 (株式会社アファ・キャピタル 事業推進本部長)
 - 太田 義史 (アライアンス・フォーラム財団 WHGC事務局長)
- ※肩書は2023年10月25日現在

2023 World Alliance Forum 東京円卓会議

- 主催：アライアンス・フォーラム財団 (国連経済社会理事会の特別協議資格を持つ合衆国公益非政府機関) 一般財団法人アライアンス・フォーラム財団
- 共催：公益財団法人 原総合知的通信システム基金
- 特別協賛：ロート製薬株式会社、デフタ パートナーズ、日本たばこ産業株式会社、三井不動産株式会社、未来トラスト株式会社
- 協賛：株式会社データコントロール、東レ株式会社、株式会社アインホールディングス、株式会社アドイン研究所、株式会社エフ・アール・シー・ジャパン、江崎グリコ株式会社、サントリーホールディングス株式会社、住友電気工業株式会社、セイコーグループ株式会社、株式会社竹中工務店、日清食品ホールディングス株式会社、丸茶株式会社、三谷産業株式会社、SKグローバルアドバイザーズ株式会社、株式会社ダイナレック、日本信号株式会社、丸一鋼管株式会社
- 賛助：オタフクホールディングス株式会社、港南株式会社、コクヨ株式会社、一般社団法人公益資本主義推進協議会、株式会社ブラネット、株式会社 LIFULL、両備ホールディングス株式会社
- 後援：原鉄道模型博物館、一般財団法人バイオインダストリー協会